新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

NIEを知らなか。たけど，非常にNIEはNIEで
ねっといんえ でゅけいしょんって感じでした。
NIEは本当に教育に良い影響を与えると思いました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

僕は普段全く新聞を読みませんが，どのような
ことが書いているのか分かって，「103歳のかぐや姫」
などおもしろいことが書いているんだなと分かりました。そして，
新聞記者の仕事はとても大変そうだなと思いましたが，
今では，仕事時間なども改善されてるんだなと思い
ました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私は新聞記者というと、スポーツ、芸能、政治など、どれか1つについてを専門にして取材していると思っていました。でも実際は、たくさんのカテゴリーのことを調べて記事にしていると知りました。記者の方は、芸能人に会えたりするので楽しそうなイメージが少しあったけど、災害が起こったときに現場に向かい、自分で見て記事を書かなければいけないのが、すごく大変な仕事だと思いました。普段家にある新聞にあまり目を通すことがないので、気になる所だけでもたまには読んでみようと思います。早川さんが今までに取材したなかで1番有名な人は誰なのかが気になりました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

記者の方々は何をしているんだろうかと小学校の頃に思っていた疑問が解決できてよかったです。新聞は毎日発行され、毎日誰かが違った記事を書いているのでとても忙しく、また、有名人などにも会うことができる。しんどい中にも楽しさがあるんだと感じました。今まで新聞記者の仕事見学などでも行ったことがなく、テレビや想像の中で存在していたものだったのですが、一冊の記事に、何百人もの人、そして、ネットよりも新聞の方が信用があり、個人の意見が出ないように、デスクと呼ばれる人達の確認もあることから、入試もみすえて、読んでいくことが大切だと感じました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

毎日のように、家の郵便箱に入っている、数十枚の紙に、数多くの人々と、記事になるまでに時間がかかっていることをしり、大きく関心を持ち、心が動きました。今では、あの、大きな紙に、全国のニュースが書かれていますが、最初は、たった一枚の紙で、当時は、記事の内容も、量も少なかっただろうなと思うと、それこそ、朝の講演が明日には出来ていたり、災害時には、その日に完成させたりと、アドリブ力がいる中であれだけのクオリティーを毎日作っている当たり前はすごい感謝だと思いました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞の内容や語句は難しくて読めないという気持ちがあったけど、語句の意味が書いてある欄があるのは初めて知りました。新聞を読むことで時事問題に詳しくなるのは良いことしかないので、読んでみようと思いました。新聞記者だけではなく、自分が興味のない分野でも知っておくと有利になる場面はたくさんあると思います。なので、今のうちにさまざまな分野のことに触れておこうと思いました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞はインターネットよりも信ぴょう性があって、情報にしっかりとした根きょがあるとわかりました。長いものでは1ケ月も取ざいをしたりすると聞いて驚きました。いろいろなジャンルを取ざいするんだとわかりました。スポーツ選手に取ざいしたりするのは楽しそうだなと思いました。新聞は時事問題にも生きてくると思うんで読みたいです。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日の講演を聞いて、自分にはまだまだ知識が足りないなと感じました。そして世界は狭いなと思いました。自分も新聞記者の仕事には就かないだろうけど、たくさんの人の共感を得ることができたり、誰かの知識になれると思うととても興味深い職業だと感じました。知識や経験はとても自分の財産になるから今のうちに何ごとも目いっぱいすることは本当にえらだろうな。今しかできないことを後悔せずに高校生活をすごすべきだなと思わされました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者のお話しを聞かせていただくことは今回が初めてで、あまり今まで興味を持ってきたことがありませんでした。しかし、お話しを聞いているうちに、新聞を1つつくることに大変な努力と苦労、それと当事者の興味がつめ込まれているのだと思いました。知識という面で、自分が好きな物を覚えることは容易であるが、結局は、地球に生きているかぎり、地球上で起こっていること、起こったこと、を知ることは損ではなく、むしろ自分自身にプラスになるものであると分かりました。正しい情報を自ら収集して、知識を広げていきたいです。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

初め、聞く前は新聞を日常で見てなくて、見たとしてもネットニュースを見ることが多いので正直おもしろくないと思っていたし興味がなかったです。だけど早川さんの講演を聞いて、まず早川さんの話し方が上手だったので頭に入ってきやすかったしおもしろかったです。すごくいろんな分野を担当したり取材する所を知って新聞記者って大変だなと思いました。その反面いろんな人に触れ合ったり、分野を扱うし、その中で新たな発見を知ったりすることを聞いて新聞記者は大変な反面、興味深くおもしろい仕事だなと知れました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私は、今日の講演会を聞いて、新聞は、社会にすごい影響を与えるんだなと思いました。法起寺の読み方の記事で、バス停の文字が修正されたというのを聞いて、新聞を読む人が多いと思ったし、その情報によって、新しい歴史が学べるんだなと思いました。最近は新聞を読む機会やとる家が少なくなったと思うけど、新しい情報を得たり、読む力が身につけれるようになるためにも、新聞をよく読んだほうがいいのかなと思いました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

読者に伝わりやすいように工夫して新聞を作っているんだなと思いました。103歳の方がかぐや姫になったということを他の新聞社が知る前に知って記事にしたというのは情報を日頃から調べているからなんだろうなと思いました。新聞記者は正しい情報を選んで伝わりやすいような文章を作らないといけないので大変だなと感じました。今は情報社会でインターネットを通していろいろな人が情報を投こうできるので私もしっかりとした情報元の情報かどうかなどを考えたりしてから正しい情報を知れるようにしたいです。新聞も読んでみようと思いました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

早川さんの話を聞いて少し新聞記者の仕事について少し気になり、興味を持ちました。早川さんの今までの取材の話などを聞いてみて、特に印象に残ったのは将棋の藤井さんの話です。たくさんの記者の方が藤井さんを囲んでインタビューをしていてとても驚いたし、仕事に一生懸命でかっこいいなと思いました。危険な場所での取材などもあるらしく、命を懸けて新聞を書いて、私たち読者にニュースや報道を伝えようとしてくれていて、今まであまり読んでいなかったけど、読んでみたいなと思いました

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今まで新聞をちゃんとすみからすみまで読んだことはなかったけど、これまでは正しいと思われていたことや、教科書にのっていることでさえ新聞の取材によって変わってしまうことにとても驚きました。また、被災した所の取材や、原子力発電所の取材など、危険な場所での取材は本当に命を懸けているなと思いました。藤井そうたさんの取材での話では、部屋の広さに比べて人の多さにとてもおどろきました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

自分の家では今までに新聞を取っていないので読んだことがありませんでしたが、今回の講演を聞いて新聞について知ることができ、興味が湧きました。これから新聞を取る機会があるかわかりませんが、学校で読める新聞を読んだりして読んでみたいなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

早川さんのお話を聞いていつもは興味を持ってなかった新聞を読んでみようかと思えるようになりました。新聞には社会を変える力があるなんて知らなかったです。他にも新聞にはたくさんの人の手がかかって作られていることも知りました。さらに記事によって製作期間がちがうことも知れました。ありがとうございました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

「正確さ」や「正しい情報」であることは当然という言葉が、新聞記者のプライドであるかのように感じました。日々新聞を読んでいるうちに、新聞をキッとしか認識しなくなり、「記者」という存在をあまり分かっていなかったことに気がつきました。昔の記事についてのエピソードがあんなにたくさんすぐに出てくることで、思い入れがあることが伝わってきました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

1つの新聞にたくさんの労力がかかってできているのだなと思いました。
様々な地域，シチュエーションでの早川さんの経験談はどれも
すごくおもしろかったです。ネットニュースのソースでもある新聞を
つくることはすごい責任だなと思いました。読んでいる新聞が多くの人の
力で、時間がかかっていることを知り、もっとじっくり読もうと思いました。
新聞を読んで、興味のあること，ないことにも接していきたいです。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私の家は新聞を数年前からとっていないので、新聞を
読む機会というものがなかなかありません。でも新聞というもの
はテレビのニュースとはまたちがっている観点で物事をとらえている
と思うので、新聞を読んでみたいなあと思いました。
いままで新聞記者にあまり興味がなかったけれど今日の話を
聞いて少し興味をもてることができました。